

## 令和2年度(2020) 出雲市水道事業会計予算の概要

### 1. 予算の概要

出雲市水道事業では、ライフスタイルの変化や節水型機器の普及により使用水量が減り、それに伴い料金収入も減少する一方、水道施設の更新や耐震化の推進のための支出は増加する状況にあり、経営状況は厳しいものとなっています。そうした中、水道料金を改定し、収入を確保することで経営の安定化を図り、「出雲市水道事業ビジョン」に基づいた計画的な施設の更新と耐震化の取組を推進します。

令和2年度予算の収益的収入では、給水戸数は微増、給水人口は微減としているところですが、水道料金の改定や受託工事収益の増加により、約3億円の増を見込んでいます。

収益的支出では、職員給与費や支払利息の減が見込まれますが、収入と同様に受託工事費や委託料の増などにより、全体では前年度に対し約4千万円の増としています。

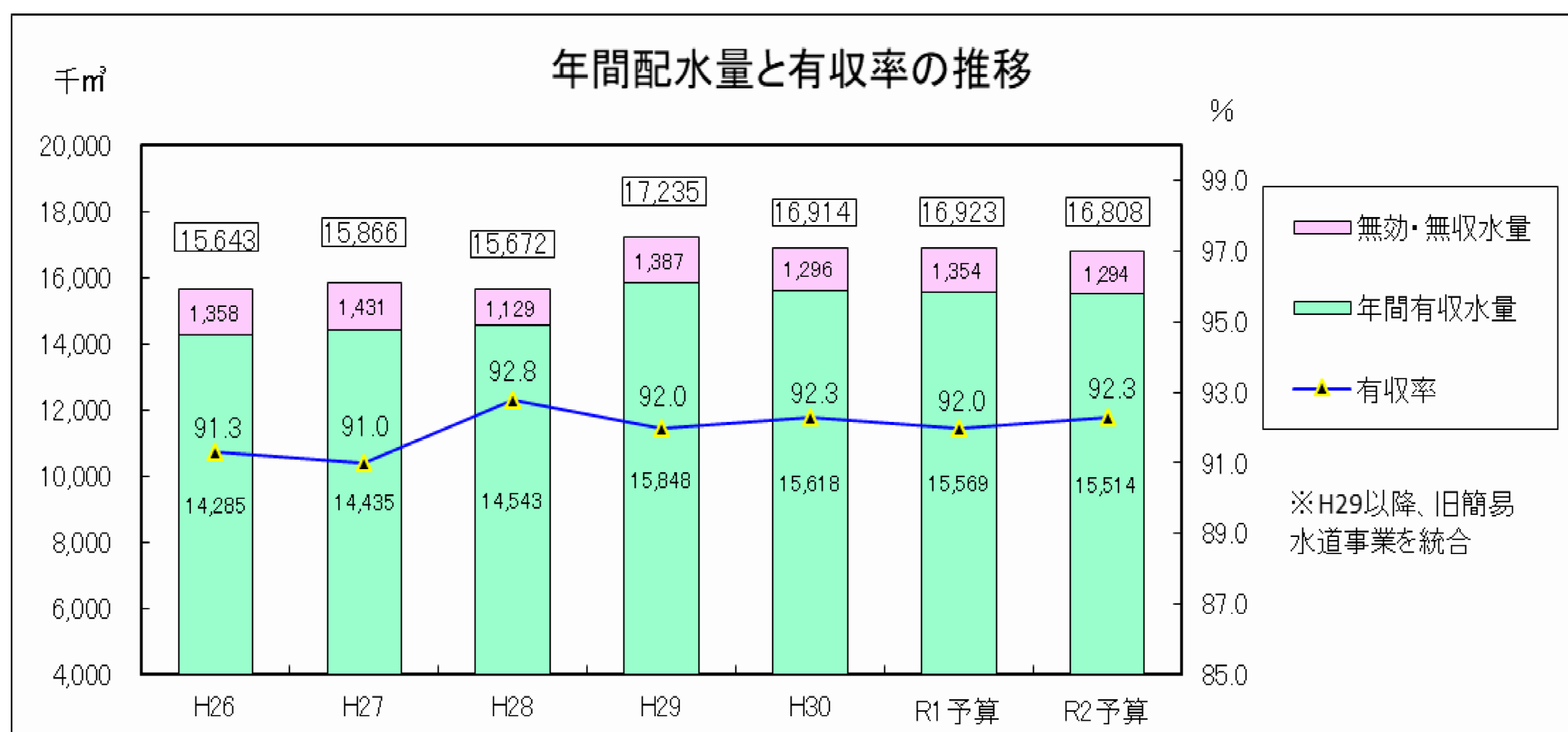
一方、資本的収支では、新向山配水系配水本管整備事業(配水本管二条化)を推進するとともに、管路等の更新や耐震性の向上に引き続き取り組みます。また、安定した水源確保のため、来原系の水源調査や出雲北部地域の水運用計画を進めます。

### 2. 業務量

区 分	令和2年度予算	令和元年度予算	増 減	平成30年度決算
給水戸数(戸)	54,500	54,000	500	55,477
給水人口(人)	143,700	144,000	△ 300	144,407
総配水量(千 $m^3$ )	16,808	16,923	△ 115	16,914
有収水量(千 $m^3$ )	15,514	15,569	△ 55	15,618
有収率(%)	92.3	92.0	0.3	92.3

給水戸数は、アパート・分譲地の給水申請状況から、前年度より若干増加すると見込んでいます。また、給水人口は、市全体の人口動態から前年度より若干減少すると見込んでいます。

総配水量及び有収水量は、ライフスタイルの変化等の影響により、前年度より若干減少すると見込んでいます。また、有収率については、平成30年度決算と同程度と見込んでいます。



### 3. 収益的収入及び支出 (給水事業経営のための収支)

(単位:千円)

区 分	令和2年度 予算(税込)	令和2年度 予算(税抜)	令和元年度 予算(税抜)	増 減	平成30年度 決算(税抜)
水道事業収益	3,819,480	3,520,300	3,223,088	297,212	3,252,174
営業収益	3,250,680	2,958,800	2,643,453	315,347	2,632,545
水道料金	3,011,800	2,738,000	2,498,000	240,000	2,502,051
受託工事収益	158,840	144,400	72,806	71,594	81,448
その他営業収益	80,040	76,400	72,647	3,753	49,046
営業外収益	568,600	561,300	579,435	△ 18,135	618,194
加入金	75,680	68,800	68,820	△ 20	82,410
その他営業外収益	492,920	492,500	510,615	△ 18,115	535,784
うち長期前受金戻入	396,700	396,700	401,711	△ 5,011	414,129
特別利益	200	200	200	0	1,435
水道事業費用	3,468,460	3,254,463	3,217,104	37,359	3,089,842
営業費用	3,105,300	2,997,763	2,944,747	53,016	2,825,045
職員給与費	310,410	310,144	334,627	△ 24,483	316,494
減価償却費	1,527,000	1,527,000	1,527,000	0	1,501,446
資産減耗費	54,590	54,005	52,773	1,232	36,547
受託工事費	136,820	126,500	95,774	30,726	85,842
その他営業費用	1,076,480	980,114	934,573	45,541	884,716
営業外費用	352,560	246,100	261,757	△ 15,657	260,062
支払利息	188,022	188,022	203,915	△ 15,893	216,721
その他営業外費用	164,538	58,078	57,842	236	43,341
特別損失	600	600	600	0	4,735
予備費	10,000	10,000	10,000	0	0
営業利益		△ 38,963	△ 301,294	262,331	△ 192,500
純利益		265,837	5,984	259,853	162,332

令和2年度の純利益は、水道料金や受託工事収益の増加の影響のため、前年度より259,853千円の増と見込んでいます。

#### 【収入】

- 水道料金は、令和2年4月から水道料金を改定するため、2億4,000万円の増
- 受託工事収益は、次期可燃ごみ処理施設関連工事負担金
- その他営業収益は、下水道事業からの徴収委託負担金、旧簡易水道事業不用施設撤去関連負担金、設計審査手数料、原因者負担金等
- 加入金は、前年度並みの見込み
- その他営業外収益は長期前受金戻入、一般会計繰入金、施設分担金、預金利息等

#### 【支出】

- 職員給与費は、一般職33人及び上下水道事業管理者のPersonnel費
- 受託工事費は、次期可燃ごみ処理施設関連工事、旧簡易水道事業不用施設撤去関連工事
- その他営業費用は、動力費、薬品費、修繕費、委託料、受水費等
- 支払利息は、企業債利子償還金(うち旧簡易水道事業分80,016千円)
- その他営業外費用は、控除対象外消費税(特定収入に係る消費税額)

#### 4. 資本的収入及び支出 (建設改良のための収支)

(単位:千円)

区 分	令和2年度 予算(税込)	令和元年度 予算(税込)	増 減	平成30年度 決算(税込)
資本的収入	935,370	885,758	49,612	888,884
企業債	300,000	300,000	0	300,000
国庫支出金	0	0	0	11,459
工事負担金	188,800	123,031	65,769	135,190
他会計負担金	9,194	10,010	△ 816	12,537
他会計繰入金	437,376	452,717	△ 15,341	429,698
資本的支出	2,512,820	2,393,164	119,656	2,885,776
建設改良費	1,686,404	1,565,841	120,563	2,094,255
拡張事業	418,980	250,984	167,996	395,282
改良事業	1,267,424	1,314,857	△ 47,433	1,698,973
企業債償還金	825,416	826,323	△ 907	791,521
予備費	1,000	1,000	0	0
収支不足額	△ 1,577,450	△ 1,507,406	△ 70,044	△ 1,996,892

#### 【収入】

- 企業債は、老朽管更新に係る事業を対象に3億円借入
- 工事負担金は、支障移転工事に係る移設負担金
- 他会計負担金は、消火栓新設工事に係る負担金
- 他会計繰入金は、旧簡易水道事業元金償還金及び児童手当に係る一般会計繰入金

#### 【支出】

- 拡張事業は、新向山配水系配水本管整備事業(配水本管二条化)、来原系水源開発整備事業等
- 改良事業は、向山配水池等再構築事業関連事業、灘分第3水源施設更新事業等
- 企業債償還金は、元金償還金(うち旧簡易水道事業分436,252千円)

#### [主要建設事業一覧]

##### ○ 拡張事業

事業名称	事業費(千円:税込)	事業概要
新向山配水系配水本管整備事業 (配水本管二条化)	215,523	国道9号姫原東交差点～姫原西交差点配水本管 布設工事(配水管φ1000:L=580m、φ600: L=575m)
来原系水源開発整備事業	29,282	来原系水源開発水文調査業務
来原系取水施設維持修繕事業	22,440	上島水源地揚水試験井 築造工事、導水管布設工事、電気設備工事
灘分・来原系連絡管整備事業	14,578	出雲北部地域配水管布設詳細設計業務 灘分・来原系連絡管布設詳細設計業務
その他一般拡張事業	44,530	塩冶町医大前新町線配水管布設工事 ほか

○ 改良事業

	事業費(千円:税込)	事業概要
向山配水池等再構築事業関連事業	15,567	七面山配水池解体撤去設計業務 配水本管布設替工事
浜ポンプ場ポンプ施設更新事業	67,529	場内整備工事 発電機設備更新外工事
灘分第3水源施設更新事業	79,200	灘分第3水源取水施設等更新工事(取水井、導水管φ300 L=200m) 灘分第3水源電気室更新工事
支障移転・管路更新事業	662,981	老朽管更新工事20件、老朽管更新設計業務3件 支障移転関連工事38件、支障移転関連設計業務5件
設備・計装更新事業	272,103	浄水場、ポンプ場等の機械機器等更新工事

5. 補てん財源(留保資金)

(単位:千円)

財源内訳	令和元年度末見込額	令和2年度中増加額	令和2年度中減少額	補てん額	令和2年度末見込額
減債積立金	364	0	0	0	364
建設改良積立金	1,125,828	5,984	0	256,127	875,685
損益勘定留保資金	0	1,236,533	0	1,236,533	0
消費税資本的収支調整額	0	84,790	0	84,790	0
当年度純利益	5,984	265,837	5,984	0	265,837
合計	1,132,176	1,593,144	5,984	1,577,450	1,141,886
貸倒引当金 賞与引当金(3条)	47,654				46,725
留保資金残高	1,084,522				1,095,161

令和元年度末の留保資金残高は、前年度からの繰越事業を含む建設事業の財源不足への補填を行った結果、約10億8,500万円になると見込んでいます。

令和2年度も引き続き、建設事業に内部留保資金を活用し、令和2年度末には約10億9,500万円になると見込んでいます。

